

2023年度 教育活動等に関する学校評価書

社会福祉法人愛の園福祉会
幼保連携型認定こども園
幕張海浜こども園

1. 教育目標

すべての人は例外なしに「神によって創造された存在である」という理解をもって、神を愛し、自然を愛し、人間を尊ぶことが人間性の基礎であることの視点に立ち、以下のように基本方針と定め、これを実践し、具体化するために、乳幼児一人ひとりの主体性（自立性・自立心・自律性）を重んじ、社会性の芽生え（協調性・連帯性・責任意識）を育て、個性が伸びる創造性（興味・集中力・探求心）のある子どもを育成することを目標とする。

＜基本方針＞

心の清い正直な人間（良心教育）
心の豊かな明るい人間（情操教育）
からだの丈夫な強い人間（健康教育）
動作の機敏な人間（安全教育）

2. 本年度の重点課題

1. 前年度実施した学校評価における課題について取り組む。
（評価項目：1、2、3、5、6、7、8、9、10）
2. キリスト教保育について、学びを深め実践する。
（評価項目：1、2）
3. 保育者の資質向上を高めるための話し合いを行ない保育に繋げる。
（評価項目：4、5、7、8、9）
4. 保育の環境構成と子どもの関わり方について研究を行い、個々の子どもの安定した成長の保障を図るとともに発達・学習が促進される保育及び就学前教育を計画的に実践する。
（評価項目：3、4、5、8）

3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

（※評価は、S(十分に成果があった)・A(成果があった)・B(少し成果があった)・C(成果がなかった)・E（取り組みが行われていない）で表している。）

評価項目	具体的な取り組み		自己評価		学校関係者評価委員	
			評価結果	こども園としての反省と改善策	評価結果	意見
教育保育方針	1	法人基本理念の理解に努め、行動意識を持ちながら保育実践する。 ※資料 1 重点課題： 1、 2	B	職員が法人理念の理解に努めながら、子どもたち一人ひとりを大切にする保育を進めた。さらに、法人基本理念を意識し、法人への帰属意識と責任を持って業務にあたる。	B	法人の基本理念を土台として、業務が行なわれることは評価する点である。引き続き、可視化、読み合わせを行ない意識付けをしながら常に念頭において職務にあたり職員一人ひとりが共通の意識を持って業務につくことが大切である。 子どもの成長発達について、ミーティングを重ねる事により担任間の共通理解を図れるため継続する事。
	2	年齢ごとの成長・発達を適切に促すことができるよう、クラス担任の協同意識を高める。 重点課題： 1、 2	B	年齢発達に則した活動ができるよう、保育計画の作成については目的やねらいを職員間で常に共有できた。しかし、日常の振り返りは、課題共有に至らないことも多く、引き続きの課題であると考え。（保育が個人の反省で終わる事が多いため、毎日のクラスミーティングを大切にしながら情報共有を行う。）	B	
特色ある保育の展開	3	キリスト教保育の理解に務め、保育実践に繋げる。 重点課題： 1、 4	B	聖書メッセージやキリスト教保育（月刊誌）に示される、人間感や保育感の理解に努めた。個々の理解度は差があるものの、毎号のキリスト教保育誌から、大切にしなければならない事柄を抽出し、保育を考える時間を持つように心がけた。	B	キリスト教保育の理解統一について、強制を図るのではなく、自然と気が付く関わりが大切。さらに理解を深めるために、キリスト教保育雑誌以外の教材や経験年数に応じた勉強課題を考えていきながら目標を立てる必要がある。 個別支援を必要とする子どもたちへの関わりについては引き続き発達支援事業所との連携を図りながら情報共有を行ない、支援に繋がる学びを深めること。
	4	個別支援を必要とする子どもたちに対し、成長発達に応じた関わりが出来る様、学びを深め保育実践に繋げる。 ※資料 2 重点課題： 3、 4	A	日常的に発達支援事業所と子どもの様子を確認しながら情報共有を図った。また、発達支援事業所とこども園の職員による連携会議を持ち、より良い支援に繋がるよう話し合いの機会を設けている。引き続き、個々の発達に応じた保育と発達支援に繋がるよう学びを深める。	A	

保育環境の充実	5	(乳児) 安心した環境で生活できるよう保育環境を整える。 (幼児) 各遊びに集中できる保育環境を整える。 重点課題：1、3、4	A	(共通) 会議等でこどもの成長に則した環境設定について学びを深め、意見交換を行いながら、環境構成の工夫・改善を行なった。引き続き、環境構成について検討を重ね、こどもたちが安心した生活や主体的に遊べる環境を整える。	A	子どもの成長に合わせた環境を工夫し設定できたことは良い点。また、姉妹園があることの強みを活かし、各年齢の保育をお互いに見合う等、職員同士が研鑽できる機会を持てると良い。
保護者との連携	6	個人面談や保育参観等を通してこどもの成長を共有する。 ※資料3 重点課題：1	A	個人面談や保育参観の機会を増やし、日頃の様子を伝えと共に、育児に対する不安や気になること等について共有を図った。引き続き、連携を密に図りながら子どもの成長発達を促していく。	A	今年度は保育参観などを通して子どもの成長を受け止めながら、同時に周囲の子どもたちの様子も理解できる機会が持てたことは良かった。 また、保護者が一緒に参加することで子どもの成長をより感じる事が出来たように感じる。今後も保護者が子どもの成長を感じ保護者と担任が共有できる機会を継続していく事が大切。
保育者の資質向上	7	会議やクラスミーティングで職員が意見交換を行いながら共通理解を図る。 重点課題：1、3	B	職員が自身の考えを持ち、意見交換が行えるように1週間前までに議題を周知した結果、各職員が自身の意見を持ち寄ることができた。しかし、意見交換を行うまでには至らず、個々の考えを発表するに留まることが多かった。意見交換が活発になることで、保育の資質向上を見込むことができると考えるため、会議方法や進め方を検討し更なる活性化を図る。	B	各会議の内容について、意見徴収、課題解決のどちらを目的とするかを決めて開催する必要がある。 また、職員の会議に臨む姿勢が高まるよう、議題提議を早い段階で共有する事も大切。

	8	食育活動について栄養士と保育者が一緒に年間計画を作成と振り返りを行なう。 ※資料4 重点課題：1、3、4	A	食育活動計画について栄養士と保育者が話し合いを持ち、栽培活動と結びつけながら実践に繋ることができた。 今後の課題として、日常生活の中で食に興味や関心が持つことができるよう活動計画を行う。	A	各年齢毎に話し合い、成長発達に沿った食育計画が立てられていると感じる。家庭では子どもがクッキング活動を楽しみにする様子が見られたり、活動後に食事の支度や食材に興味を持つ様子がある。 食育活動には栽培やクッキングだけでなく沢山の項目があるので理解を深めながら次回の計画立てに取り入れる事が出来ると良い。
危機管理	9	事故や怪我の発生時の原因について、客観性を持って振り返り再発防止に努める。 重点課題：1、3	A	事故発生時には、見守りカメラを確認した上で、事実に基づいた報告書を作成した。また、事故検証結果については、同様の事故が発生しないよう、職員周知後、担当するクラス年齢に置き換えて、再検討を行った。 今年度の事故原因の多くは、職員の連携不足や思い込みによるものであったため、日頃から意識共有を行っていく。	A	事故（怪我）が起きる前の子どもの様子や保育者の心理状況、周囲との連携等について詳細の振り返りをこれからも大切にする。
	10	起こりうる災害を想定した避難訓練を実施する。また、訓練実施後の振り返りを行い、災害発生に備える。 重点課題：1	S	台風・氾濫など、これまで災害に繋がりにくかった自然災害を意識した訓練に取り組んだ。その結果、避難に対する新たな課題発見の他、日常保育の在り方について新たな気づきを得ることができた。	S	避難訓練については今後マンネリ化してしまう事が考えられるので子どもたちの命を守る意識を保ちS評価を継続していくにはどうしたら良いかを考えていく必要がある。

幕張海浜こども園 学校評価実施要綱

2018年9月1日 制定

（目的）

乳幼児の教育・保育活動その他施設運営について目標を設定し、その達成や取組み状況について評価することにより、組織的・継続的な改善を図る。

（評価）

自己評価は、幕張海浜こども園の職員（保育教諭、栄養士、調理師、事務員、一時預り専任者等）によって行い、設定した目標や計画に照らし、その目標の達成状況や取組みの状況について評価を行う。

学校評価関係者による評価は、幕張海浜こども園に在籍する園児の保護者代表と姉妹園の延長ほか、地域住民等が自己評価の結果に基づき、評価と助言を行う。

（評価時期）

自己評価	年2回	9月・1月
評価委員による評価	年1回	1月
第三者評価	5年ごとに1回	2011年／2016年／2021年

（報告）

学校評価の結果は、保護者および地域住民に公表する。尚、公表時期は、評価を実施した翌月とする。

（評価委員とその任期）

自己評価者

1	園長：千葉諭、主幹保育教諭：東里紗、遠藤逸希、副主幹保育教諭：藤井梨津子 栄養士：外山裕美 保育教諭：永島礼菜、岡田央穂
---	--

評価委員（2024年度）

		役 職	氏 名（敬称略）
1	幕張海浜こども園に在籍または卒園した園児保護者	現保護者会 会長 卒園児保護者代表	小川宏美 松井龍行
2	地域関係者	社会福祉協議会幕張西地区部会 会長	平野悦子
3	姉妹園	社会福祉法人愛の園福祉会 第2幕張海浜保育 園長	福嶋悦子
4	その他園が認めた者		

評価委員の任期は委嘱の日から2年間とし、再任を妨げない。また、任期途中に地域の役職が変更された場合は、後任者と相談の上、引き継ぎを決定する。